

# 精神看護学実習

## 目 的

精神障害をもつ対象の特性を理解し、生活者としての自立に向けて看護を実践できる能力と、対象を一人の人間として尊重する態度を養う。

## 目 標

1. 精神障害をもつ対象の生活歴やストレングスを把握し、身体・精神・社会的側面から総合的に理解できる。
2. 対象のセルフケア能力を判断し、地域での生活を見据えた日常生活援助が実践できる。
3. 患者－看護者間の相互作用の中で自己の傾向に気づき、対象の人格を尊重して治療的な対人関係を構築できる。
4. 精神障害をもつ対象の人権擁護の重要性を理解できる。
5. 精神保健医療福祉サービスの役割や援助の実際・連携を学ぶことができる。
6. 精神障害をもつ対象が、地域で生活していくために必要な支援と課題について理解できる。

## 内 容

### <病棟>

1. 精神障害をもつ対象の理解
  - 1) 発病に至った経緯について、発症の時期や症状・治療経過にとどめず、生育歴や生活歴、家族背景、社会性、生活環境など広く情報を得て、精神に影響を及ぼす要因について考える
  - 2) 対象の治療目的・方法・内容を理解する
  - 3) 対象に現れている精神症状（意識・知覚・記憶・思考・知能・感情・意欲と行動・自己概念の異常）と状態像を解釈する
  - 4) 健康な精神活動を把握する

- 5) 対象の反応の意味を、精神状態・心理過程・生活背景などと関連させて考える
2. 日常生活援助の実践
    - 1) コミュニケーション技術を応用し、対象との対人関係を構築する
    - 2) 対象のセルフケア能力をアセスメントする
    - 3) 患者や家族の希望・治療方針等を踏まえた目標を設定する
    - 4) セルフケアレベルに応じた援助を考える
    - 5) 対象の状態を考慮し、セルフケアへの援助を行う
  3. 精神科看護の特徴の理解
    - 1) 離院・自傷・他害・自殺などを防ぐための配慮、人権への配慮を理解する
    - 2) 療養の場・生活の場としての環境と看護師の役割について理解する
    - 3) 精神科リハビリテーションについて、治療的効果と援助の在り方考える
  4. 自己理解
    - 1) プロセスレコードや日々の記録を通して対人関係における場面を振り返り、自己の感情や行動の傾向に気づく
    - 2) 対人関係における自己課題について明確化する

### **<デイケア>**

1. デイケアの役割と機能の理解
  - 1) デイケアの目的、メンバー構成、プログラムと期待される効果、多職種連携
  - 2) 精神科リハビリテーションの実際から、精神症状の観察を行い効果を考える
  - 3) 看護師の役割、症状悪化時の対応および援助内容

### **<就労継続支援 B 型事業所>**

1. 施設の役割と機能の理解
  - 1) 支援の実際
  - 2) 医療・福祉の連携
2. 就労継続支援を利用している精神障害をもつ対象の理解
  - 1) 地域での生活状況および通所の目的
  - 2) 実際の場面から、地域で生活している精神障害をもつ対象が、自立して社会生活を営むための支援の必要性について考える

### **<地域生活支援センター>**

1. 施設の役割と機能の理解
  - 1) 施設の設置目的、運営、構成人員、援助内容
2. 地域で生活する精神障害をもつ対象を支える福祉サービスの理解
  - 1) 日中活動や住まいの場に関する支援
  - 2) セルフケアへの支援
  - 3) 相談支援
  - 4) 権利擁護
3. 地域で生活する精神障害をもつ対象の理解
  - 1) 日常生活の様子と支援の状況
  - 2) 生活への希望の理解
  - 3) 地域で生活するために必要な支援について考える

# 方 法

1. 実習開始前に、学内にてオリエンテーションを受ける。
2. 学内実習
  - A ねらい：精神症状の観察や、精神疾患をもつ患者の特徴を踏まえたコミュニケーションおよび精神科リハビリテーションについて学ぶ。
    - 1) DVD を用いてシミュレーション学習を行う。
    - 2) 『統合失調症の臨床 第3巻 リハビリテーション』のDVD視聴
    - 3) 精神科リハビリテーションや就労および生活支援の必要性についてグループワークを行う。
  - B ねらい：実習の目的・目標・内容・方法を再確認すると共に、精神看護実習の展開をイメージ化することで、実習の準備性を高める。
    - 1) 『目で見える精神看護－VOL.2 精神看護実習』のDVD視聴
    - 2) 病棟および施設実習のスケジュールと留意点
3. 病棟実習
  - 1) 実習開始前に病院オリエンテーションを受ける。
  - 2) 病棟オリエンテーションを受ける。
  - 3) 以下の条件を可能な範囲で考慮し選定された患者1名を受け持つ。
    - (1) 閉鎖病棟に入院中で7日間受け持つことが可能であること
    - (2) 精神症状が比較的とらえやすく、日常生活への影響が見えやすいこと
    - (3) 患者の示す行動の意味をとらえやすいこと
  - 4) セルフケア評価表に基づいて看護を実践する。
  - 5) テーマカンファレンスを開催する。
  - 6) 病棟で行われる作業療法や行事に参加する。
  - 7) 病棟実習終了後は「精神科看護を実践して学んだことと看護の役割」について実習レポート用紙に記載する。
4. 精神科デイケア
  - 1) オリエンテーションを受ける。
  - 2) デイケアの日課・役割分担に沿って、利用者とともに行動する。
5. 就労継続支援B型事業所
  - 1) 施設内の日課・役割分担に沿って、利用者とともに作業を行う。
  - 2) ミーティング・交流会に参加する。
  - 3) 最終日にカンファレンスを開催する。
6. 地域生活支援センター
  - 1) 地域生活支援センターの概要について説明を受ける。
  - 2) グループホーム、就労支援事業所などを見学する。
  - 3) 利用者へインタビューを行う。
7. デイケア・就労継続支援B型事業所・地域生活支援センター実習終了後
  - 1) 「地域で生活する精神障害をもつ対象に必要な支援と課題」について考察し、実習レポート用紙に記載する。

# 精神看護学実習評価表

《市立釧路総合病院3F病棟》実習期間 月 日～ 月 日 番 氏名

| 項目  | 項目  | A  | B   | C | D |
|---|---|----|-----|---|---|
| 1   | 対象の病態と経過、行われている治療（薬物療法・リハビリテーションなど）が理解できる。            | 4  | 3   | 2 | 0 |
| 2   | 対象の反応の意味を、精神状態・心理過程・生活背景などと関連させて解釈できる。                | 4  | 3   | 2 | 0 |
| 3   | 対象の精神状態を健康的な側面にも注目し、日々アセスメントできる。                      | 4  | 3   | 2 | 0 |
| 4   | 対象の日常生活を観察し、精神症状や身体機能を踏まえてセルフケア能力をアセスメントできる。          | 4  | 3   | 2 | 0 |
| 5   | 入院前までの歩み、現在の状態、援助の方向性等を踏まえて、全体像および適切な長期目標を設定できる。      | 4  | 3   | 2 | 0 |
| 6   | 対象の状態を考慮しながら、意図的に関わり援助を実践できる。                         | 5  | 4   | 2 | 0 |
| 7   | セルフケア評価表に基づいて実施した援助を対象の反応から評価・考察できる。                  | 4  | 3   | 2 | 0 |
| 8   | 患者の状態に応じてセルフケア評価表の追加・修正を行い、必要な援助が述べられる。               | 4  | 3   | 2 | 0 |
| 9   | 対象に関心を持ち共感的態度で接することができる。                              | 4  | 3   | 2 | 0 |
| 10  | 自分自身の思考・感情・行動と対象の反応を踏まえて、関わりを振り返り、自己理解および自己の課題が述べられる。 | 5  | 4   | 2 | 0 |
| 11  | 安全や人権への配慮を踏まえ、療養の場・生活の場としての環境と看護師の役割について述べられる。        | 4  | 3   | 2 | 0 |
| 12  | 精神科リハビリテーションによる対象の反応から健康的側面を理解し、援助の必要性が考察できる。         | 4  | 3   | 2 | 0 |
| 13  | 体験や実践を通して学びを振り返り、精神科看護の役割および自己の課題について述べられる。           | 4  | 3   | 2 | 0 |
| <評定尺度> A: 少しの指導でできた      C: 繰り返し指導を受けて少しできた<br>B: 指導を受けながらできた      D: 繰り返し指導を受けてもできなかった |   | 合計 | /54 |   |   |

## 《デイケア・就労継続支援B型事業所・地域生活支援センター》

| 項目   | 項目  | A  | B   | C | D |
|--|---|----|-----|---|---|
| 1  | 精神科デイケアの機能とプログラムの期待される効果を踏まえ、看護の役割が述べられる。                   | 3  | 2   | 1 | 0 |
| 2  | 就労継続支援事業所の実際の場面から、日常生活の様子や利用目的を理解できる。                       | 3  | 2   | 1 | 0 |
| 3  | 就労継続支援事業所の役割を踏まえ、地域で生活している精神障害をもつ対象が自立して社会生活を営むための支援が述べられる。 | 3  | 2   | 1 | 0 |
| 4  | 地域生活支援センターにおいて、精神障害をもちながら地域で生活する対象の様子や生活支援の状況が述べられる。        | 3  | 2   | 1 | 0 |
| 5  | 地域で生活する精神障害をもつ対象に必要な支援と課題について自己の考えが述べられる。                   | 4  | 3   | 2 | 0 |
| <評定尺度> A: よくできた      B: できた      C: 少しできた      D: できなかった |   | 合計 | /16 |   |   |

## 《態度》

| 項目   | 評価のポイント  | A  | B   | C | D |
|--|--|----|-----|---|---|
| 1. 熟考性   | ・疑問、関心、興味あるものについて、文献を活用して学習できる。<br>・日々学んだことや、問題点、疑問が放置されることなく学習され、実習に活かされている。  | 5  | 3   | 2 | 0 |
| 2. 積極性   | ・課題達成、よりよい看護に向けて、積極的に学習し、主体的に行動できる。<br>・カンファレンスのテーマに沿って、積極的な発言ができる。<br>・自分の意見を述べるができる。<br>・技術習得に向けて、評価を受けている。                  | 5  | 3   | 2 | 0 |
| 3. 責任性   | ・看護師、他の医療従事者、教員に正確に連絡・報告・相談できる。<br>・時間や決まりごとを守ることができる。（記録物の形式、欠席・欠課の対応、提出物など）<br>・健康管理ができる。<br>・援助や実技練習の際は、準備から後片付けまで責任もって行える。 | 5  | 3   | 2 | 0 |
| 4. 協調性   | ・グループ内での協調的メンバーシップが取れる。<br>・他者の意見を傾聴できる。   | 5  | 3   | 2 | 0 |
| 5. 確実性   | ・行動計画の内容が適切であり、状況に応じて変更し、実習時間を意識しながら行動できる。<br>・看護師、他の医療従事者、教員と調整、確認しながら実習できる。  | 5  | 3   | 2 | 0 |
| 6. 誠実性   | ・誰に対しても言葉遣いは丁寧で、尊重した態度で接することができる。<br>・看護を誠実に行える。<br>・助言・指導を受け入れ、納得したうえで行動できる。  | 5  | 3   | 2 | 0 |
| <評定尺度> A: よくできた      B: できた      C: 少しできた      D: できなかった |  | 合計 | /30 |   |   |

実習指導責任者 \_\_\_\_\_

担当教員 \_\_\_\_\_

|     |  |
|-----|--|
| 総合点 |  |
|-----|--|